

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【公表番号】特表2005-526016(P2005-526016A)

【公表日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-034

【出願番号】特願2003-561581(P2003-561581)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	9/70	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/04	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/18	(2006.01)
A 6 1 K	47/20	(2006.01)
A 6 1 K	47/22	(2006.01)
A 6 1 K	47/24	(2006.01)
A 6 1 K	47/26	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2006.01)
A 6 1 M	37/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	9/70	
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	47/04	
A 6 1 K	47/10	
A 6 1 K	47/12	
A 6 1 K	47/18	
A 6 1 K	47/20	
A 6 1 K	47/22	
A 6 1 K	47/24	
A 6 1 K	47/26	
A 6 1 K	47/42	
A 6 1 M	37/00	

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月13日(2005.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項13】

37 での4週間の保存後に50%以上のDNAがそのスーパーコイル型の状態であるように、スーパーコイルプラスミドDNAが安定化されている、請求項12記載のDNA薬剤送達装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項14

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項14】

放出される際の単量体：二量体スーパーコイル型の比率が0.8~1.2の範囲内であるように、DNAが安定化されている、請求項12記載のDNA薬剤送達装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項23

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項23】

アジュバントがCpG、合成イミダゾキノリン、ツカレスール(tucaresol)、サイトカイン、MPL、QS21、QS7および水中油型エマルジョンから成る群より選択される、請求項22記載のDNA薬剤送達装置。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項27

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項27】

溶媒が工程の前に脱金属されている、請求項24記載のDNA薬剤送達装置の製造方法。